

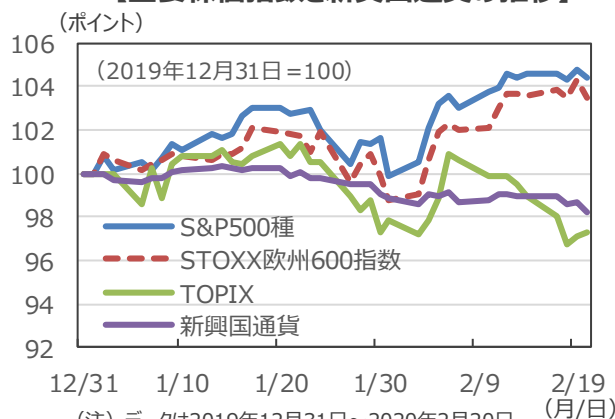
## 今日のトピック 新型肺炎の影響と新興国通貨の動向

# 全般的には安定的に推移しているが、資源国通貨は弱含み

### ポイント1 新型肺炎拡大でも 落ち着いている金融市場

- 昨年末、中国の武漢で発生した新型肺炎の感染が拡大しています。金融市場を見ると、主要国の株式は1月こそ下落しましたが、2月に入ると米国、欧州市場が上昇に転じ、最高値を更新するなど比較的落ち着いた動きとなっています。
- そうした中、新興国通貨は比較的安定的に推移しています。これは、株式などの動向から判断すると金融市場全体がリスク回避的な状況には至っていないことに加え、米国の緩和的な金融政策が続くとの見方が多いことが背景です。

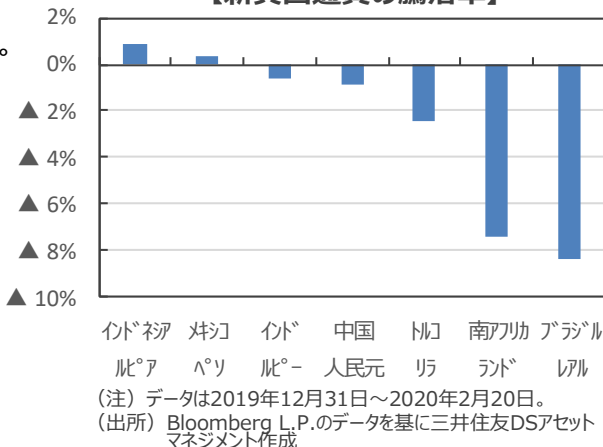
【主要株価指数と新興国通貨の推移】



### ポイント2 実は2極化している新興国通貨

- ただ、新興国通貨の動きをよく見ると、対米ドルで上昇している通貨と大きく下落している通貨があることが分かります。つまり、足元の新興国通貨の動きは2極化しているようです。特に、南アフリカ・ランドとブラジル・レアルは年初来7%超下落しており、他とは明らかに傾向が異なっています。
- 両国に共通する点として資源依存度が高いことがあげられます。主な輸出品である鉄鉱石や石炭は、世界最大の素材の消費地である中国経済が新型肺炎の影響で大幅な減速に陥っているため価格が下落しています。輸出が価格・数量ともに落ち込めば、これらの国々は大きな影響を受けるため、通貨の下落につながっていると考えられます。

【新興国通貨の騰落率】



### 今後の展開 新型肺炎が沈静化すれば素材価格が持ち直し、新興国通貨も上昇へ

- 中国では、新型肺炎の拡大抑制のため春節休暇が延長されました。その後、企業や工場は操業を再開し始めていますが、多くの従業員が復帰できず稼働率は低位に留まっています。一方、中国政府の発表する新型肺炎の新規感染者数は徐々に減少してきており、企業の稼働率も緩やかながら高まっていくことが期待されます。そのため現在が素材需要が最も弱い時期と考えられ、今後は素材の需要が回復し、素材価格も正常化に向かうと見られます。伴って、現在は低調な新興国通貨も上昇に転じると考えられます。

**ここもチェック!** 2020年2月18日 原油価格は新型肺炎の影響で下落 (2020年2月)  
2020年2月12日 米国株式市場～低金利と好業績を背景に最高値を更新

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。